

# 「雑がみ」って？

「雑がみ」とは、新聞・段ボール・紙パック・紙製容器包装**以外**の再資源化が可能な紙のことです。色々な紙がありますが、それらをまとめて「雑がみ」といいます。

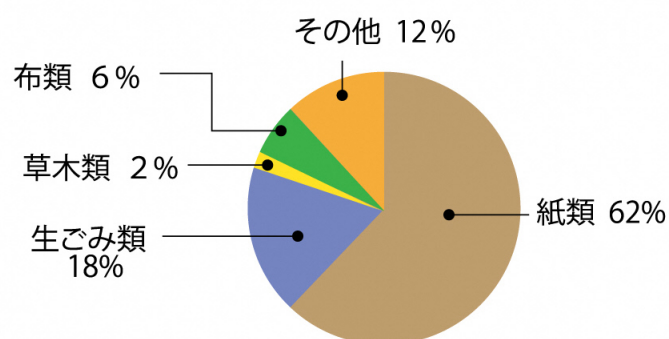
コピー用紙や封筒などは、普段なにげなく燃やすごみとして捨てがちですが、ご家庭でのちょっとした工夫で資源ごみに変えることができます。

雑がみを分別して、「資源ごみ」にすれば貴重な資源としてリサイクルされ、燃やすごみの減量につながりますので、雑がみの分別にご協力をお願いします。

## 雑がみを有効利用！

燃やすごみの中身を見ると、紙類が約60%を占めています。紙類の中でも多いのが雑がみです。ほとんどの紙が雑がみとしてリサイクルができますので雑がみの分別にご協力ください。

燃やすごみの中身▶



## 雑がみを含めた紙のリサイクルごみとしての出し方はどうするの？

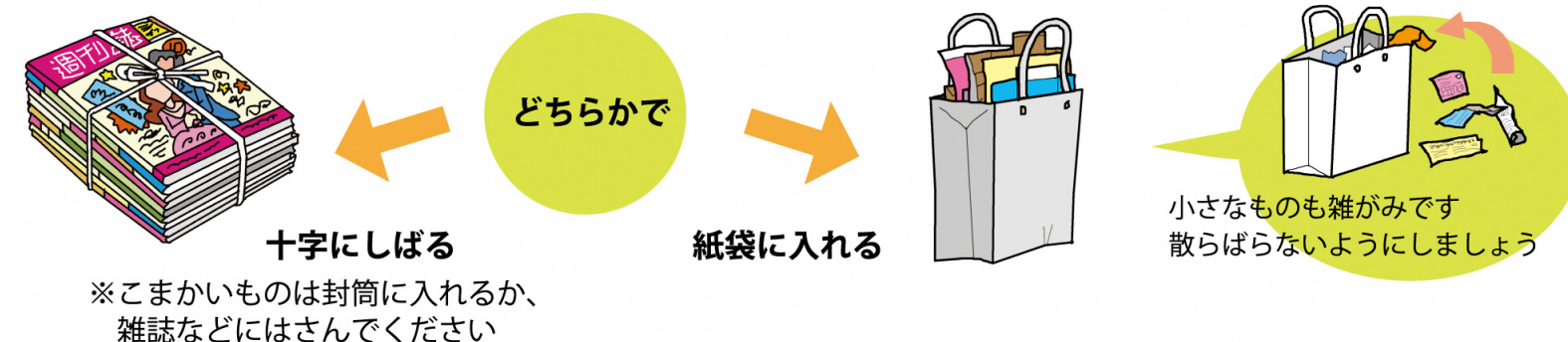
「新聞紙」「段ボール」「紙パック」「**雑がみ**」「紙製容器包装」と分別し、**資源ごみの日**に出してください。

新聞紙・段ボール・紙パック	【雑がみ】(旧雑誌)	紙製容器包装
<p>ダンボール</p> <p>新聞紙、ちらし 紙パック</p>	<p>雑誌、単行本、カタログ、コピー用紙、封筒、ハガキ、紙の芯、カレンダーなど</p>	<p>食料品の紙など商品が入っていた空き箱で、<b>紙</b>マークが入ったもの</p>
<p>新聞紙、段ボール、紙パックを種類ごとに、ひもで十字にしばってください。</p> <p>【新聞】は折込チラシを一緒に出してもかまいません。</p> <p>【紙パック】は水洗い後、乾かして切り開き出してください。</p>	<p>【ひもで十字にしばる場合】雑誌、コピー用紙など、同じくらいのサイズならひとまとめにしてください。</p> <p>【紙袋で出す場合】種類ごとに分けて、そのまま紙袋に入れてください。</p>	<p><b>紙</b>マークが入ったものは、紫色の資源ごみ袋に入れて出してください。(その他紙欄に○記入)</p>

## 雑がみはどうやって出すの？ 出し方が増えました

今まで雑がみは十字にしばって出す方法しかありませんでしたが、新たに紙袋に入れて出せるようになりました。分別した雑がみは、ひもで十字にしばって出すか、紙袋に入れて出してください。紙袋に入れて出す場合は、中身の雑がみを確認できるような口を完全に密封せずに出してださい。

※十字にしばったり、一部ガムテープなどで止めるなど、こぼれないように注意してください。



## どんな紙が雑がみになるの？

### ■ 雑がみに なる 紙類

- 雑誌、カタログ
- 役場や学校などの回覧、連絡用紙
- 封筒、ノート
- ダイレクトメール
- ポスティングチラシ
- カレンダー、パンフレット、ポスター、メモ帳、その他紙類
- ワイシャツなど服装品のパッケージ台紙
- はがき
- トイレットペーパーの芯 ※つぶして出す

※ホチキスの針は 取らなくても構いません

※カレンダーの金属製留め具は不燃ごみへ

下記の「雑がみに **ならない** 紙類」以外はリサイクルができます。

### ■ 雑がみに ならない 紙類

これらは資源にならないため、可燃ごみとして捨てましょう！

- ティッシュ
- 感熱紙、レシート
- 伝票など複写紙、カーボン紙
- 紙おむつ